

聖トマス大学、聖カタリナ大学

ソーシャルワーク校

学長及び教授

バーバラ W. シャンク



経歴声明：

35 年に渡り、積極的にソーシャルワーク教育に従事してきました。学部レベルの教育者として始め、現在は我が大学ソーシャルワーク校の初代学長を務めています。この間、学部生は 50 人のソーシャルワーク課程から 600 人のソーシャルワーク学部、大学院修士・博士課程になりました。また、専任・兼任教員も当初の 6 人から 59 人になりました。更に、1 専攻から 5 種類の専門キャリアを提供する 5 専攻に成長してきました。

今まで、IASSW において女性利益推進委員会の委員長を、全米ソーシャルワーク学校学長理事長協会において会長・副会長・会計担当を、学士課程学長協会において大会長を、全米ソーシャルワーカー協会 (NASW) において実践研究ネットワーク委員会の委員長を、全米ソーシャルワーカー協会ミネソタ支部において事務局長と会長を務める機会に恵まれてきました。

現在は、全米ソーシャルワーク教育協議会（CSWE）において理事長を、国際社会開発連合会（ICSD）において会長を、全米ソーシャルワーク学校学長理事長協会において国際対策委員会の共同委員長を、全米カトリック系学長協同組合において会長を務めています。

協働関係の構築と維持、積極的な関わり、奉仕活動、ソーシャルワーク教育及び実践における強い専門団体の重要性を信じています。私自身の成功経験は、我々の専門職のために努める機会を与えてくださった回りの同僚の皆さんのおかげであると捉えています。

IASSW のビジョン：

2 年間に渡って理事として IASSW の理事会において、そして女性利益推進委員会において活動を展開できたことを光栄に思っています。任務を継続できるように、事務局長の役職に対する推薦を受け、誇りに思います。IASSW の理念を推進するために世界各地の同胞と協働できる機会を歓迎しています。

IASSW の理念は、正しく私自身の仕事に対する動機と熱意を語っています。人間の福利を促進するために、全てのソーシャルワーク教育者がグローバルなレベルで質の高いソーシャルワーク教育・研究・学識を身につけ、普及させなければ

ならないと確信しています。原動力のある各課程の発展と効果的なサービスの提供を目指すのであれば、教育者と学生の活発なコミュニティを構築し、維持しなければなりません。強く、活気ある専門職と専門団体を目指すのであれば、協働し、連携しなければなりません。単独では理念の実現と目標の達成ができません。ソーシャルワーカーとして、あらゆる方向から課題に直面しており、包摂性を実現し、多様性を肯定し、障壁となる者に尊重しながら働きかけ、公共の福祉のために努める必要があります。我々には、ソーシャルワーク教育者として、世界中でソーシャルワーク教育と専門的なソーシャルワーク実践を促進する基準を開発し、それを守る責任があります。質の高い教育・研究・学識・実践を通して、我々の専門職のために尽くさなければなりません。

IASSW の役割は、世界中でソーシャルワーク教育の発展を推進すること、国際的に専門性と情報の連携・協働・交流を促進すること、研究と学識を共有できる支援と場を提供すること、そして人権・社会経済的正義・社会開発を促すことであると信じています。私は、IASSW と世界中の姉妹団体の間の協働を促進するために努力します。私と一緒に働いたことのある皆さんが分かるように、私は大人しい見物者ではありません。積極的に関わり、貢献することの方を好みます。

事務局長として、傾聴する姿勢の他に、ソーシャルワーク教育、質の高い仕事、グローバルな課題に対する熱意で、多様性を尊重して違いを肯定する心で、問題の中で可能性を見出し、対立を解消し、仲間をエンパワーする能力で、そして協働・連携・社会正義に対する使命感でこの役職に貢献したいと思っています。